

とんぼをつかってあそぼう

教科・場面

高等部 A 班 造形

授業・実践のねらい

- ・好きな色を見つける。色々な表現方法を知る。
- ・できあがった作品を使用して楽しく遊ぶ。

対象の児童・生徒

- ・高等部 1～3 年生
- ・自分の意志で体を大きく動かすことはできないが、視線や指の動きで意志を伝えることができる。
- ・授業途中で吸引がある生徒が多い。
- ・覚醒状態が低い生徒がいる。

教材・教具

- ・画用紙
- ・絵具、筆
- ・色付き透明の色紙
- ・両面テープ
- ・iPad (音楽をならすため)

工夫したところ

- ・生徒がはさみを使用することが難しい為、画用紙や色紙はあらかじめトンボの体の形に切っておく。
- ・授業前に音楽を流し、手指の体操を行うことで、生徒の覚醒状態を上げる。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

〈授業展開〉

- ・あいさつ、出席確認、手指の体操
- ・授業
- ・ふりかえり、あいさつ

〈教材の使い方〉

- ・トンボの片側の羽の部分に好きな色の絵具で模様を描き、デカルコマニーでもう片方の羽にも模様をつける。
- ・トンボの目の色を選び、両面テープで張り付ける。トンボのパーツをくっつけて完成させる。
- ・トンボのめがねの歌に合わせて作成したトンボを揺らしたり、とんぼの目をのぞき込んだりして、作成したトンボで遊ぶ。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・教師に視線で好きな色を伝えることができた。
- ・作成したトンボの目から教室をのぞき込むと不思議そうな顔をして、普段とは違う見え方を楽しむことができた。